

令和6年度「東京国立博物館スタディーツアー」を実施しました

1. 日 時: 令和7年2月8日(土) 12:30 ~ 16:45
2. 内 容: (1)東京国立博物館本館(日本ギャラリー)鑑賞
(2)グループディスカッション
3. 会 場: 東京国立博物館 黒田記念館及び本館
4. 参加者: 43名(中国10名、日本9名、フィリピン4名、インドネシア3名、トルコ、バングラディシュ、ブラジル、マレーシア各2名、アイルランド、アメリカ、イタリア、タイ、ナイジェリア、ナミビア、パレスチナ、ミャンマー、韓国 各1名)

5. 実施状況:

外国人留学生が我が国の文化や歴史を学習する機会を設けることにより、留学の意義をより高め、我が国の歴史と文化に対する理解の増進を図ることを目的とし、東京国立博物館においてスタディーツアーを実施、外国人留学生34名(16か国籍)、日本人学生9名、計43名が参加しました。

最初に、黒田記念館で東京国立博物館学芸員より本博物館の概要説明と日本ギャラリーの見どころ紹介を聞きました。

次に、10グループに分かれ自己紹介の後、東京国立博物館本館に移動し、グループで日本ギャラリーを鑑賞しました。本館前で全体集合写真を撮ってから黒田記念館に戻り、「日本ギャラリーで気に入った作品ベスト3」のテーマで、グループディスカッションをしました。各グループとも、紙に気に入った展示物を模写しながら話したり、日本文化のひろばで体験した浮世絵を見せ合ったりしながら、盛り上がったディスカッションをしていました。

最後にグループ毎に「日本ギャラリーで気に入った作品ベスト3」を発表し、終了となりました。

グループは異文化交流となるよう、日本人学生1名と、外国人留学生の国籍が重ならないように構成し、日本人学生には、通訳と、グループワークのとりまとめをお願いしました。

美術鑑賞と多国籍のディスカッションを同時に体験することで、日本文化への理解がより深まり、参加者満足度の高いイベントとなりました。

6. 参加者の感想

- ・スタディーツアーでは、さまざまな分野を研究する学生と知り合うことができ、新しい視点や興味深い会話を得ることができたので、本当に楽しかったです。また、美術館の日本ギャラリーを探検するのも楽しく、充実した経験でした。全体的に、学びと楽しみがうまくミックスされていました。
- ・様々な文化や価値観を一つのテーマを共有することで体感できた。
- ・様々な国の新しい友人に出会えた。
- ・グローバル化が進む中で、このように直接話し合うことは大事だと身をもって感じられた。
- ・新しい人々と出会い、彼らの文化的背景を知り、共通の興味を見つける機会を楽しんだ。
- ・他の人々と関わり、意見を交換し、つながりを築くことは素晴らしい経験でした。
- ・他大学の学生と交流する機会がなかったので、他大学の友達を増やすいい機会になった。
- ・日本の文化財について海外出身の方たちに説明する難しさを実感するとともに、自分でも新しく知ることが多く、ためになった。

7. 東京国立博物館スタディーツアーの様子



以上